

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」は、A群レンサ球菌を原因とする感染症です。主に幼児や学童を中心に、例年、冬から春にかけて流行します。レンサ球菌は聞き慣れない言葉ですが、本疾患だけでなく、菌の侵入部位によって、とびひ、中耳炎、肺炎など様々な病気の原因にもなります。

★症状★

- ◇潜伏期間は2～5日間程度です。
- ◇突然熱が出て、のどが痛くなり、全身がだるくなります。しばしば、嘔吐（おうと）を伴います。熱は約3～5日で下がります。
- ◇まれに重症化し、高熱とともに全身に赤い発疹や舌に「いちご舌」と呼ばれる発赤が現れ、「猩（しょう）紅熱」といわれる状態になることがあります。



★治療方法など★

- ◇抗生物質が有効です。ただし、自己判断で服用を中止すると腎炎などの合併症を起こすことがありますので、医師の指示に従い、最後まできちんと服用しましょう。
- ◇喉の痛みがひどい場合は、のどに刺激の少ない、柔らかい薄味の食事にしましょう。食べるのがつらいようでしたら、水分だけでもしっかり摂るようにし、水分補給を心掛けましょう。



★感染経路と予防方法★

- ◇患者の咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによって感染する「飛沫感染」と、手指を介して感染する「接触感染」の経路で感染します。
- ◇予防方法は
 - ・正しい手洗い（下記参照）、手指消毒、うがいを行いましょう。
 - ・症状の有無に関わらず、咳やくしゃみをするときは咳エチケットを心掛けましょう。
 - ・症状がある人とは密接な接触を避けましょう。

☆正しい手洗い方法の紹介☆（京都市こどもの感染症 「手洗いの方法」）

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

気になる症状がある場合は、すぐにかかりつけの医療機関を受診しましょう！



★お問合せ先★

○保健福祉局 衛生環境研究所 管理課 疫学情報担当
(TEL:075-606-2674 FAX:075-606-2671)

(平成28年10月編集)